



平成 30 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社マーキュリアインベストメント
代表者名 代 表 取 締 役 豊島 俊弘
(コード番号：7190 東証第一部)
問合せ先 執行役員 営業 I R 部長 中井 竜馬
(TEL. 03-3500-9870)

業績予想と実績値との差異及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成29年11月27日に公表いたしました平成29年12月期通期の連結業績予想につきまして、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、平成29年2月14日に公表いたしました平成29年12月期の配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期通期連結業績予想と実績値の差異（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	3,800	2,000	2,000	1,400	101円21銭
実績値（B）	4,224	2,230	2,208	1,490	107円52銭
増減額（B－A）	424	230	208	90	
増減率（％）	11.2	11.5	10.4	6.4	
（ご参考）前期連結実績 （平成28年12月期）	2,521	1,280	1,248	854	70円54銭

- (注) 1. 前期連結実績（平成28年12月期）の1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
2. 当社は、平成29年12月18日付で東京証券取引所第一部銘柄に指定されましたが、前回発表予想の1株当たり当期純利益は公募株式数（2,500,000株）を考慮した予定期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数（510,000株）は考慮しておりません。一方、実績値の1株当たり当期純利益は公募株式数（2,500,000株）及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数（510,000株）を考慮した期中平均株式数により算出しております。
3. 当社は、平成28年8月1日付で普通株式1株につき200株の株式分割を、平成29年1月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、平成28年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

差異が生じた理由

当社が行っているファンド運用事業は、経済環境、株式市況、各国の政治等、様々な要因に影響されます。ファンド運用事業は管理報酬と成功報酬から構成されますが、成功報酬については当社が管理運営を行うファンドにおける投資回収の金額及びタイミングにより、損益の金額及び損益の期間帰属が影響を受けます。

平成 29 年 12 月期通期の連結業績に関して、当社が管理運営を行うファンドにおいて投資回収のタイミングが前倒しされ、平成 29 年 12 月期に帰属する成功報酬が前回発表予想時と比して増加したため、営業収益、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が増加しております。

なお、通期の業績の詳細につきましては、本日公表の「平成 29 年 12 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」を併せてご参照下さい。

2. 平成29年12月期配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前 回 予 想 (平成 29 年 2 月 14 日発表)	—	—	—
今 回 修 正 予 想	—	17 円 00 銭	17 円 00 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭		
前 期 実 績 (平成 28 年 12 月期)	0 円 00 銭	45 円 00 銭	45 円 00 銭

(注) 当社は、平成 29 年 1 月 1 日付で普通株式 1 株につき 3 株の株式分割を行っております。平成 28 年 12 月期の配当金については当該株式分割前の配当金の額を記載しております。

修正の理由

当社は株主への利益還元を経営の最重要課題と認識しており、内部留保を確保しつつ、財政状態及び経営成績並びに経営全般を総合的に判断し、業績に応じた株主への利益還元を継続的に行っていくことを基本方針としております。

平成 29 年 12 月期の配当につきましては、前回予想において未定としておりましたが、利益配分に関する基本方針及び足元の業績を踏まえ、1 株当たり 17 円の配当を実施させていただく予定です。

以 上